

公開プロセス結果の平成26年度予算概算要求への反映状況

(単位：百万円)

事業番号	事業名	平成24年度 補正後予算額	平成24年度		公開プロセス		平成25年度 当初予算額 A	平成26年度 要求額 B	差引き B－A＝C	Cのうち 反映額	反映内容		備考
			執行可能額	執行額	評価結果	とりまとめコメント（概要）							
037	平和構築人材育成事業	141	141	141	事業内容の改善 事業全体の抜本的改善	●事業の成果の判断が難しく、より効率的、効果的な事業となるよう見直すべき。 ●実質的に一者応札が続いており、委託先の選定が不透明。競争性の確保を含めた見直しが必要。	112	97	▲15	▲15	縮減	・一者応札が継続している点に関し、2年目事業の分離、業務仕様書の簡素化、公示期間の拡大等の更なる改善により、競争性の確保に努めていく。 ・より効果的・効率的な事業となるよう、これまでの実績に鑑み、期待される効果が比較的低い平和構築文民専門家コースの廃止やシンポジウムを本事業から分離する等の見直しにより、事業の改善に努めた。	
093	海外邦人の安全に関する情報収集と官民連携	143	143	136	現状通り	●中東・アフリカ地域をはじめとする英語以外の情報、公式な情報以外の市民社会の情報等を含め、事業の効率性にも配慮しつつ、より体系的な情報収集体制を構築すべき。	160	259	99	－	現状通り	公開プロセスの評価を踏まえ、国際ニュースモニタリングサービス関係経費については、ニュースソース及び情報処理要員を追加し、情報収集体制の拡充を図る。 遠隔地等邦人安全情報関係費については、情報提供者の更なる発掘をおこない、充実を図る。 在外危機管理セミナー開催経費については、事業の効率性を高めた上で開催地を増やし、安全情報発信手段の拡充を図った。 その他、事業についてもご指摘の点を踏まえつつ、増額要求をおこない、情報収集及び官民連携の充実を図る。	
097	貧困農民支援（無償資金協力）	3,130	3,130	2,750	事業全体の抜本的改善	●援助の目標設定や効果測定が不十分であり、PDCAサイクルの確立を含めた有効な援助の仕組みを整備すべく、援助のあり方を抜本的に見直すべき。 （一旦廃止すべきとの意見も2名あった。） ●相手国政府による事業成果の報告の徹底等を含め、見返り資金のあり方についても、見直しが必要。	無償資金協力25年度予算全体（164,196百万円）の内数	無償資金協力26年度要求額全体（181,136百万円）の内数	－	－	縮減	■貧困農民支援については、公開プロセスの評価を踏まえ、貧困農民支援について①PDCAサイクルに基づく改善と国民向け説明責任が適切に確保されること、②被援助国の支援ニーズに機動的に対応できることの双方を確保しつつ、本年度実施中の協力準備調査の結果も踏まえて具体的な検討を進めていく。	
合 計		3,414	3,414	3,027			272	356	84	▲15			

注1. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注2. 「反映内容」欄の「廃止」、「段階的廃止」、「縮減」、「執行等改善」及び「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：行政事業レビューの点検の結果、事業を廃止し平成26年度予算概算要求において予算要求していないもの。（行政事業レビュー点検以前に平成24年度末までに廃止されたものは含まない。）

「段階的廃止」：行政事業レビューの点検の結果、明確な廃止年限を決定するとともに平成26年度予算概算要求の金額に反映はあるものの、予算要求をしているもの。

「縮減」：行政事業レビューの点検の結果、何らかの見直しが行われ平成26年度予算概算要求の金額に反映を行うもの。

「執行等改善」：行政事業レビューの点検の結果、平成26年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、執行等の改善を行うもの。（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。「今後検討」や「～に向けて努める」などのようなものについては含まない。）

「現状通り」：行政事業レビューの点検の結果、平成26年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がなかったもの。（廃止、段階的廃止、縮減及び執行等改善以外のもの。）